



移情閣だより

No. 84

三 竹 中 健 造 画

輝やこう移情閣友の会

移情閣友の会会長

林 同 春

新年おめでとうございます。輝かしい新年を迎え、会員各位の皆々様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

旧年中は「友の会」の運営活動に際し、各部会より格別のご支援ご協力を賜り大きな成果をあげることができました。衷心より感謝致します。

昨年は移情閣を創建された、呉錦堂先生の生誕百五十周年に際し、慈溪市で行われた盛大な記念式典に友の会コーラス同好会会員を含む六十名の祝賀団が参加致しました。

慈溪、寧波両市の三劇場では友の会合唱団が日頃の鍛錬の美声で慶びを歌い上げ、大きな喝采を受けました。

本年も変らぬ御高麗をお願いし、併せて皆々様のご健勝ご多幸をお祈り致します。

神戸国際交流フェア 2006

「きて！みて！たべて！語りあおう」

日時 3月25日(土) 13時30分～17時
 (語りあおう共生のまちづくりとパーティ)
 3月26日(日) 11時～17時
 (団体活動紹介展示、ステージ等)
 場所 ハーバーランドスペースシアター・デュオドーム
 入場無料

財神戸国際交流協会に所属する交流団体がパネル展示やステージで各国の語り・歌・パフォーマンスを披露する国際交流フェアです。

2006年 新春のつどい

馬頭蹄の調べととも

日時 1月29日(日) 12時～14時
 場所 ポートピアホテル29階「聚景園」
 会費 8,000円(税サ、飲物込み)
 定員 80名(先着順で1/20まで)

ご希望の方は事務局までお電話又はFAXで申込みの上、会費を前納して下さい。

☎078-783-7172 FAX 078-785-3440

呉錦堂の故郷で生誕記念行事

「友の会」からもコーラスが参加

孫中山記念会副理事長 山田 敬三

移情閣の創建者、呉錦堂の生誕一五〇周年記念特別展示が、この十月から孫文記念館で開催され、十二月十日には中華会館でシンポジウムがもたれます。

いずれも財団法人孫中山記念会によるささやかな記念行事ですが、呉錦堂生誕の地、中国浙江省慈溪市では町をあげての大々的な記念行事が舉行されました。

十一月十三日、神戸華僑の同郷者組織である三江会館の人々を含む一行約六十名は、杭州の蕭山機場に向けて関空から出発、空港からは専用バスで高速道路を走り、午後三時過ぎには慈溪国際大酒店にチェックインしました。慈溪は杭州湾に面した人口約百万の小都市ですが、全長三六キロに及ぶ杭州湾大橋が建設中であり、現地ではそれを当て込んだ開発の建設ラッシュに湧いています。

当日の夜、近くにある広電中

心（放送センター）のホールを会場に、早くもコーラスグループによる記念行事が始まりました。そして翌日は慈溪市主催の

「呉錦堂先生誕辰一五〇周年記念大会」です。井戸兵庫県知事の挨拶が代読され、孫中山記念会としては、具原理事長代理で林向春副会長が挨拶を行ないました。

また、現在、台湾から兵庫県立大学に留学中の大学院生許慶豊さんが「清政府の華僑政策及び呉錦堂の事業活動」と題する研究報告を行いました。彼女は、今回の記念行事に孫中山記念会から派遣されて参加しました。中国側からも政府要人による挨拶や、呉錦堂研究者の学術報告があり、故郷の英雄を記念するにふさわしい催しが実施されました。この日に合わせて、「呉錦堂研究」という立派な書物も出版され、参会者一同に配

布されました。

午後はおつて呉錦堂の寄付によって創設された錦堂高級職業中学（旧称「錦堂師範学校」）の参観と「呉錦堂墓園」への参拝です。ここでも友の会コーラスは臨機応変の大活躍をします。

そして夕刻には、寧波市に移動、国際大酒店で寧波市政治協商会議主催のレセプションに臨みま

した。

第三日、活動の中心は、寧波に移り、コーラスによる音楽交流もここで行なわれましたが、事情があつて私は当日の朝からお隣の紹興に移動しました。そこは現代中国最大の文豪魯迅が生まれ、その少年時代を送った町で、かつて二千五百年前に越の都が置かれた古い都市です。

ここには、魯迅故居が保存され、紹興魯迅記念館が設置されていて、友の会の皆さんも訪れた。ここはあるようですが、しかし、その風貌はこの二年間にすつかり趣を異にしていきます。

かつて自動車も往来していた魯迅記念館前の大通りは、東西約二〇メートルあまりが、立派な石畳の敷かれた歩行者天国となり、「魯迅故里」と名付けた一面の道路沿いには昔の町並み

を再現した土産物店や飲食店がびっしり立ち並んでいました。日本ですと、さしあたり島崎藤村の古里である馬籠や妻籠を思い起こさせる風景です。その通りや記念館にも、学生の団体や観光客がひっきりなしに訪れ、魯迅記念館の展示も面目一新していました。わが孫文記念館もあやかりたいような変貌ぶりです。

四日目の夕方、コーラス・グループとは再び杭州で合流、夜は杭州師範学院音楽学院で最後の音楽交流がもたれました。慈溪のとき同様、フィナーレは聴衆をまきこんでの大合唱となり、まさしく草の根の民間交流を地で行く感動的な催しになりました。



神戸市文化活動功労賞 ご受賞 張文乃 先生

移情閣コーラス同好会講師で、移情閣コーラス誕生から現在に至る20年間厳しく、楽しくご指導いただいている張文乃先生が、平成十七年十月七日、神戸市から、文化活動功労賞を授与されました。

長年にわたり、多数の合唱団体を指導し音楽を通じた日中文化交流に尽力するとともに、歌曲集の出版を通して歴史と伝統のある中国音楽を紹介するなど、ひたむきな活動を続けられた、神戸の文化の向上に貢献された功をたたえられてのご受賞です。



2005年 移情閣と舞子風景を描く・展覧会 11月25日～29日 於 神戸市立まちづくり会館ギャラリー

移情閣友の会主催、副孫中山記念会協賛の公募展、「移情閣と舞子風景を描く・展覧会」も今年で開催第20回を迎えました。神戸市内での開催を、多くの方々からの希望に答え、今年からは久しぶりの神戸市内での開催、そして初めて神戸市立まちづくり会館での開催となりました。

阪神・淡路大震災から10年を過ぎた神戸の街はすっかり復興、会場のある元町通りは以前にも増した人の往来で、神戸市立まちづくり会館ギャラリーでの展覧会には、カウント数72人をこえる多くの来館者を得て成功裡に終えることが出来ました。

移情閣と舞子風景を描く、という限定されたテーマで毎年9月に開催される、移情閣スケッチ会をベースにし、その延長で個々に移情閣と舞子風景をスケッチに来られる多くの絵画愛好者の間にすっかり定着した「移情閣と舞子風景を描く・展覧会」は、友の会が会員以外の一般多数の市民に働きかける友の会活動盛大の行事として注目されています。



生活文化協会賞 中根寿美子
神戸華僑総会賞 畦地重夫 神戸新聞社賞 三木綾子 山陽電気鉄道賞 市位勘子 神戸舞子ライオンズクラブ賞 藤田美代子 舞子ホテル賞 村上登代子 住作賞 角田郁子 坂口スミ子 浦上君子 内藤弘子 藤井満智子 正井武彦 小島伊知郎 福永正 田中武彦 戸木利雄

移情閣大賞 谷垣輝 移情閣友の会会長賞 三中理紗 孫中山記念会賞 三中理央 兵庫県神戸県民局賞 株本咲 垂水生活文化協会賞 広瀬海 神戸華僑總會賞 木村美歩 山陽電気鉄道賞 高橋星架 神戸舞子ライオンズクラブ賞 藤原彩 舞子ホテル賞 松尾麻紗子 神戸新聞社賞 長島寛太 住作賞 美波菜摘 鈴木智絵 渡部桂太郎 波田野理歩 辻川美智子 鈴木芽依 藤原寛樹 山下優史 谷直美 長峯加々奈 秋山果穂 努力賞 酒井梨々華 今村沙月 内藤美玖 鈴木仁華 久保榮弥 株本花 長峯己奈 湯藤愛 池田友希乃 山崎涼 池田大希 渡部聡介 谷歩乃日 高橋英行 藤澤七望 春田ひかる 山本雄大

◇入賞者【一般の部】

移情閣大賞 小倉民也 移情閣友の会会長賞 藤原咲子 孫中山記念会賞 山崎正憲 兵庫県神戸県民局賞 平岩隆雄 垂水

◇入賞者【子供の部】

移情閣大賞 小倉民也 移情閣友の会会長賞 藤原咲子 孫中山記念会賞 山崎正憲 兵庫県神戸県民局賞 平岩隆雄 垂水

2006年 同好会・新年に望んで

◇絵画同好会

2月27日・28日と泊2日ですが、浜坂方向へスケッチ旅行を計画しています。今年は四季の風景スケッチを目標し年3〜4回はスケッチ習作の機会を持ちたいと思います。

毎月第一・第三水曜日

午後一時半〜四時

会場 レバンテ美術室

会費 月額二千五百円

指導 竹中信清先生

代表者 坂口・角田・松岡

◇胡弓同好会

演奏会の回数が、年々増加し、昨年は、テレビの歴史街道にも幸い出演出来、一歩前進出来た様に思います。本年も更に向上心を持ち且つ、楽しく練習出来るよう努めて行きたい。

毎月第一・第三日曜日

午後一時半より・於記念館

会費 月額二千円

(二ヶ月分づつ先払)

講師 鳴尾牧子先生

代表者 宇佐見光之助

胡弓が初めての方の入会月は

4・8・12月です。弾かれる

方はこの限りではありません。

◇藤扇同好会

去る一年例会の他ヨーロッパ茶膳、無農薬野菜のフランス料理、中国茶の説明を聞きながら賞味、新しい会員も増えたので基礎を繰り返し会員も増えたので基礎を繰り返し新しい情報伝えたい。

月一回第三火曜日

午後一時三十分〜三時三十分

会費 年会費千円例会会三百円

世話人 田中朝代

◇囲碁同好会

十九路の交点に人生の縮図を見、宇宙を感じる、負けた悔しさを糧とし、棋力の向上に努めたい。最後の最後まで望みを捨てず、勝ちを信じて、対局を放棄しない。一子でも強くなろう。

毎月第二・第四日曜日

午後一時〜四時半 於記念館

会費 六ヶ月三千円

代表者 小川和男

◇中国文化同好会

中国文化同好会が発足して十八年この間、生活拠点の中国へのシフト化と人的交流、文化交流、インターネットとテレビ等の豊富な情報で、新鮮な講座の企画には毎回苦労します。暫く中国文化

の華「書と水墨画」を企画して皆様のご参加をお待ちしています。毎月第三日曜日

午後二時半〜五時 於記念館

年会費 千五百円

幹事 近見幸之

◇コーラス同好会

昨年は震災十年、前半はその関連行事への出演も多く、又後半は呉錦堂生誕百五十年記念の訪中演奏旅行もあり忙しい一年でした。今年も初心に戻り、会員全員が楽しく歌えるように願っております。

練習日第一・第三日曜日(原則)

十時〜十二時 荻谷公園内他

会費 一回 一千円

講師 張 文乃先生

代表 河合純子

◇写真同好会

写真は先ず撮ることです。その中で気に入ったものを2〜3枚くらいに伸ばして持ち寄って下さい。お互に鑑賞し合い楽しみましょう。又撮影会にも行きましょう。今年も楽しみ乍ら集まらしましょう。

毎月第一・金曜日一時より

会場 於 記念館

会費 六ヶ月三千円

指導 飯方彰、徳田祥一

代表 飯方彰

◇太極拳同好会「拳寿会」
移情閣太極拳同好会の今後の目標として、「表演」のみならず、「医学的理論」にもとづいた健康を追求いたします。その第一歩として、今年には「身体の柔軟性」と「インナーマッスルの強化」から始めます。これで立ち姿が美しくなれば目標達成です。

健康スポーツ医 中村章

練習場所

於荻谷公園コミセンその他

毎週土曜日二時から五時

会費 月二千円三月五千元、

連絡 高田秀峰 平日は夜間のみ

後記

阪神・淡路大震災から11年目を迎えるようとしています。その後も天災、人災、天候異変などさまざまなお出来事が多い昨年、今年こそは明るいニュースに遭遇したいと思えます。友の会会員アンケートで復活希望の多かったバス旅行も実現されそうです。会員親睦から新たな友の会活動エネルギーを、と願う新年です。

発行所 移情閣 中山記念館友の会
講師先 神戸市東灘区東灘子町二〇五一
電話七八三・一七二一
編集 佐野・秋山